

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第二課

1. 案件名 (国名)

国名：ウガンダ共和国

案件名：西部ウガンダ地域医療施設改善計画

The Project for the Rehabilitation of Hospitals and Supply of Medical Equipment in the Western Region in Uganda

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの現状と課題

ウガンダでは、乳児死亡率は出生 1000 対 58 (2011 年)、5 歳未満児死亡率は出生 1000 対 90 (2011 年)、妊産婦死亡率は出生 10 万対 310 (2010 年) と未だ高く改善が必要とされている。また、地方に住む貧困層、とりわけ女性・子ども等の社会的弱者の医療サービスへのアクセスは未だ限定的であり、その現状を改善し、治療・予防可能な疾病を確実に治療・予防していくことが、保健セクターにおける喫緊の課題である。ウガンダ政府は、1999 年に「国家保健政策 1999/09-2009/06」(National Health Policy: NHP) を策定し、その下で「保健セクター戦略計画」(Health Sector Strategic Plan: HSSP) を策定し、保健セクターの課題への対応を進めている。HSSP I (2000/01-2004/05) 及び II (2005/06-2009/10) のもと、医療費の無料化、1970 年代後半から 1980 年代初頭の内戦で荒廃した医療施設の改善、医療施設の増設によるアクセスの改善、コミュニティ・レベルから県レベルまでを対象としたサービス・デリバリーの強化等に取り組んだ結果、居住地から 5 km 以内に最寄り医療施設がある世帯の割合は、全人口の 49% (1999 年) から 72% (2009 年) へ改善するなど、一定の成果も現れている。NHP II (2010/11-2019/20) 及び HSSP の後継となる「保健セクター戦略・投資計画 2010/11-2014/15」(Health Sector Strategic and Investment Plan: HSSIP) においても、保健インフラの整備が引き続き重視されており、施設・機材の改修・整備の必要性は高い。また、地域医療体制の強化を通じたリファラル体制の構築も課題である。

かかる状況において、我が国は無償資金協力として東部地域、中央地域と段階的に地域医療体制の強化に対する支援を実施してきた。今回実施する西部地域においても、地域中核病院の施設の老朽化が著しく、整備が緊急の課題となっている。

(2) 当該国における保健セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

ウガンダ政府は「NHP II」及び「HSSIP」に基づく保健分野の取り組みを進めており、本事業は地域医療リファラル体制整備の一環として、西部ウガンダ地域における保健医療サービスの拠点である地域中核病院の機能を強化し、医療サービスの質を向上させるものである。

(3) 保健セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

対ウガンダ共和国国別援助方針の中で、「生活環境整備 (保健・給水)」を重点分野として掲げており、本件は開発課題「保健サービス向上」の下の「保健サービス強化プログラム」に位置づけられる。

これまでに、無償資金協力として、「ソロティ地域医療体制改善計画」(2002 年度)、「東部ウガンダ医療施設改善計画」(2005-2006 年度)、「中央ウガンダ地域医療施設改善計画」(2009-2010 年度)、「予防接種体制整備計画」(2009 年度)、技術協力プロジェクトとして、「医療機材保守・管理プロジェクト」(2006 年 6 月～2009 年 5 月) を実施している。さらに、技術協力プロジェクト「保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化プロジェクト」(2011 年 8 月～2014 年 12 月) は、本計画対象病院を含む計 9 か所の拠点医療施設で保健インフラ及び機材の使用・維持管理の質の改善を図るもので、本事業との連携が見込まれる。なお、本事業は TICAD V における「MDGs 達成の加速化」に位置づけられる。

(4) 他の援助機関の対応

アフリカ開発銀行 (AfDB) 「ムラゴ病院改修プロジェクト」(2011 年-) 「保健セクター戦略計画 II 支援プロジェクト」(2008 年-)、世界銀行 (WB) 「保健システム強化プロジェクト」(2010 年-)、米国開発庁 (USAID) 「AIDS 対応システム強化プロジェクト」(2010

年-)が実施中である。AfDB 及び WB 案件と、対象病院との重複はない。USAID 案件では、対象病院のラボの整備が含まれており、本計画では重複がないように調整している。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本プロジェクトは、西部地域の主要地域中核病院の核となる施設の整備ならびに機材調達を行うことにより、同地域中核病院の保健医療サービスの改善を図り、もって地方における保健医療サービスへのアクセスと質が向上し、地域レファラルシステムが有効に機能することに寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

西部ウガンダ地域（カバレ県：カバレ地域中核病院、ホイマ県：ホイマ地域中核病院、カバロレ県：フォートポータル地域中核病院）対象人口・規模：約 600 万人

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】カバレ地域中核病院（外来・救急棟、手術・産科病棟等）、ホイマ地域中核病院（外来診療棟、手術・産科病棟等、受電棟等）

【機材】カバレ・ホイマ・フォートポータル地域中核病院の外来処置・診断機材、救急処置機材、手術用機材、産婦人科病棟関連機材等

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

保守管理活動及び機材運用を強化するための技術指導

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費：18.31 億円（概算協力額（日本側）18.17 億円、ウガンダ国側：0.14 億円程度）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2013 年 12 月～2015 年 10 月を予定（計 23 ヶ月、詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

実施機関：保健省病院サービス部保健インフラ課、カバレ、ホイマ、フォートポータルの各地域中核病院

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：既存施設の敷地内における病棟建設および機材整備を行う案件であり、環境及び社会への望ましくない影響は特段想定されない。

2) 貧困削減促進：特になし。

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：特になし。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担： USAID の協力との重複がないよう考慮する必要がある。

(9) その他特記事項：特になし。

4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

先方負担事項（建設工事に必要な敷地の提供や建設予定地の整備など）が適切に実施されること。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

治安情勢および行政機能の維持

5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

「東部ウガンダ医療施設改善計画」の事後評価結果等から、整備した医療機材がウガンダ側の人材不足で使用開始が遅れ、適切な医療人材の確保と医療機材の保守管理能力強化が必要と指摘されている。

(2) 本事業への教訓

ソフトコンポーネントによる医療機材の保守管理・運用強化の技術指導を計画に含め、スペアパーツの調達可否についての確認を行った。また、技術協力プロジェクト「保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化プロジェクト」の医療機材の使用の研修等の機会も活用し、医療機材の保守管理・運用能力の強化をはかる。

6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

ウガンダ政府の NHP 及び HSSIP に即しており、我が国の対ウガンダ援助重点分野である「生活環境整備（保健・給水）」における「保健サービス強化プログラム」に位置づけられるものであり、妥当である。また、西部ウガンダ医療の現状からみて、緊急性も認められる。

(2) 有効性

1) 定量的効果

カバレ地域中核病院（対象施設：外来診療部門、手術部門、救急部門、産科部門）

指標名	基準値（2011年）	目標値（2018年） 【事業完成3年後】
外来患者数 ^{*1} （件/年）	112,990	141,200
手術件数 ^{*2} （件/年）	5,826	7,300
救急患者数（件/年）	1,694	2,100
分娩数（件/年）	5,817	7,300

*1 外来患者：小児科・内科・外科・整形外科・歯科・婦人科

*2 全手術件数から歯科に係る手術件数を除く

ホイマ地域中核病院（対象部門：外来診療部門、手術部門、救急部門^{*3}）

指標名	基準値（2011年）	目標値（2018年） 【事業完成3年後】
外来患者数 ^{*4} （件/年）	117,490	146,900
手術件数 ^{*5} （件/年）	3,602	4,500
救急患者数（件/年）	3,656	4,600

*3 対象病院には産科病棟があるが、分娩室が含まれないため、整備対象部門に含めない。

*4 外来患者：一般外科・小児科・婦人科・外科・整形外科・歯科・耳鼻咽喉科・高血圧・糖尿病科・産科

*5 全手術件数から歯科に係る手術件数を除く

フォートポータル地域中核病院

指標名	基準値（2011年）	目標値（2018年） 【事業完成3年後】
外来患者数 ^{*6} （件/年）	142,867	178,600

*6 外来患者：一般外来・小児科・内科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科・婦人科・産科

2) 定性的効果

- 1) 地方の保健医療サービスが向上することにより、利用者の満足度が上昇する。
- 2) 対象病院が整備され、地域のトップリファラル病院として有効に機能することにより、リファラルシステムの改善につながる。

7. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価 事業完成3年後

以上